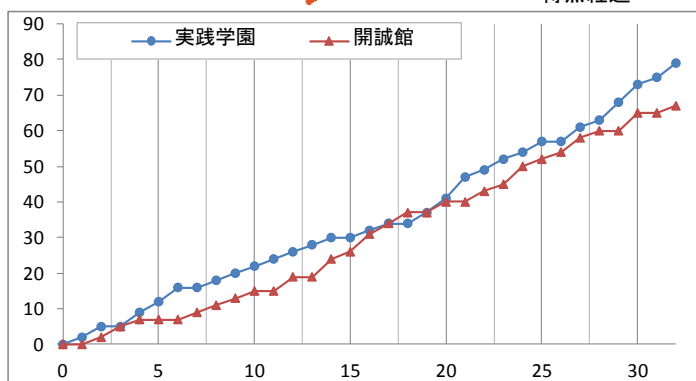




得点経過



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																
会場	一関市総合体育館																
日時	2015年8月23日(日)	10:52															
コート	Dコート 第2試合																
カテゴリー	男 予選リーグ第1試合																
主審	及川 学																
副審	大澤 真也																
TEAM A		TEAM B															
実践学園 (東京都)	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>17</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	18	1st	11	14	2nd	20	22	3rd	19	25	4th	17	—			67 開誠館 (静岡県)
18	1st	11															
14	2nd	20															
22	3rd	19															
25	4th	17															
—																	

BOXスコア

TEAM A		実践学園						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	小玉 大智	×	32	0	14	4	4	
5	小松 篤	DNP	0	0	0	0	0	
6	藤村 夏生	/	0	0	0	0	0	
7	若月 遼	×	20	4	4	0	0	
8	豊島 隆平	/	0	0	0	0	1	
9	斉藤 颯斗	/	2	0	1	0	1	
10	横山 悠人	×	2	0	1	0	2	
11	樋口 将馬	×	0	0	0	0	0	
12	伊藤 康雄	×	4	0	2	0	1	
13	渡部 一輝	/	0	0	0	0	0	
14	佐藤 律希	DNP	0	0	0	0	0	
15	江原 信太郎	/	19	0	9	1	2	
16	吉崎 裕志	DNP	0	0	0	0	0	
17	木村 圭吾	/	0	0	0	0	2	
18	小宮山 駿帆	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	森 圭司							
合計			79	4	31	5	13	

TEAM B		開誠館						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	神田 誠仁	×	11	0	3	5	4	
5	菅沼 英一	/	8	0	4	0	2	
6	渡邊 伽也	DNP	0	0	0	0	0	
7	曾田 翔己	×	17	0	8	1	4	
8	佐原 和樹	×	14	3	2	1	1	
9	田中 勇樹	×	14	4	1	0	3	
10	松尾 智哉	/	3	1	0	0	2	
11	山本 啓太	×	0	0	0	0	1	
12	鈴木 利尚	/	0	0	0	0	0	
13	荒木 友介	DNP	0	0	0	0	0	
14	二村 遥	DNP	0	0	0	0	0	
15	池谷 愛斗	DNP	0	0	0	0	0	
16	近田 都和	DNP	0	0	0	0	0	
17	大馬 颯斗	DNP	0	0	0	0	0	
18	鈴木 雄悟	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	尾藤 博己							
合計			67	8	18	7	17	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

関東ブロック代表実践学園と、東海ブロック代表浜松開誠館の対戦は、両チームともマンツーマン Def でスタートした。実践学園の#15がゴール下シュートで先制すると、すぐさま開誠館#7が、ゴール下シュートで反撃する。開誠館は、オールコート2-2-1のプレス Def をしかけるが、実践学園は#15、#4の長身を生かしたインサイドのプレーで得点を重ね、18-11で1Q終了。2Qは、開始早々実践学園が、#12のミドルシュートで得点。開誠館は#5の2本のミドルシュートで追隨する。残り2分、#9の3Pシュートから、開誠館は試合の流れをつかみ始め、#8の速攻や、終了間際の#9の3Pで32-31まで迫り、2Q終了。

3Q、立ち上がり、実践学園#4はリバウンドボールを押し込み先制。それに対し、開誠館は、#9と#8の連続3Pで逆転。実践学園が#4のフリースローとゴール下でのシュートを決めると、開誠館の#8が3Pを決める、一進一退の攻防が続く。実践学園#7の連続得点から試合が動き始める。開誠館はタイムアウトを取り、ゾーン Def からマンツーマン Def に切り換えるが、54-50実践学園リードで3Q終了。4点を追う、開誠館#9の速攻による得点から始まった4Q。#4のミドルシュートや#7のゴール下でのシュートで実践学園に1点差まで迫るが、実践学園は#4のジャンプシュート、#7の3Pやバックシュートなどで得点を重ね、79-67で実践学園が勝利した。実践学園のインサイドプレーと、開誠館の積極的な Def の良さが際立った試合であった。

記者者 中釜 敬康 (所属) 岩手県中体連バスケットボール専門部